

# 建設現場を訪れて

# 人材最前線

日本の総人口は2010年をピークに減少に転じている。働き手が不足する中、政府は女性の活用を推進している。建設業界でも、人手不足を解消し、さらには女性の持つ強みを現場で発揮してもらいために、企業文化の改革に取り組んでいる。建設業は女性が生き生きと働ける職場である点を発信しよう、日本建設業連合会では、女性技術者・技能者を「けんせつ小町」という愛称でPRしている。夏休み真っただ中の今、けんせつ小町が活躍する建設現場に、女子小中学生を招いた見学会が全国で開催中だ。

「涼しい!」外気温は、声を上げた。7月25日、29度Cだが、地下約20メートル、東京外環自動車道市川に掘削された開削トンネル内部に下りていくと、参加した8家族22人は、気温がぐっと下がった。普段目にするのではない、工事現場に興味津々だ。東京外環道は首都圏での交通・物流の円滑化を目的とした高速道。市川中の現場は京成本線が交差する箇所に当たり、鉄道への影響を最小限に抑える工夫がされている。現場は常時700人。工事概要を説明する貞廣さんと聞き入る参加者たち。

## 女子小中学生招き見学会



工事概要を説明する貞廣さんと聞き入る参加者たち

鹿島の貞廣さん(32)に引率され、参加者は工事現場敷地内へ。工事概要の説明を受けて、地下20メートル内部へと、仮設階段で下っていった。実際の資材に触れる体

## けんせつ小町 未来につなぐ

## ラス型枠と若手育成

向こう側が透けて見えるラス型枠に、コンクリートが流し込まれる。ドドドドと網目からコンクリートが垂れ落ちるのではないかと心配になるが、型枠は見事にコンクリートを保持し続けている。固まったコンクリートは、通常の木枠のように型枠を外す手間なく、次の工程へ進むことができる。廃材が出ないという優れた環境性と効率性。特に建設業への従事者減少が問題視されている今、人手不足を補う意味でもラス型枠は注目される。その工法と従事する若者を追った。

## 新工法で人手不足解消へ

埼玉県北東部に位置する加須市。東北自動車道加須ICから3・4キロの地点で、レッドウッドグループが物流施設「レッドウッド加須アイストリビューションセンター」建設に着手した。施工は鴻池組、竣工は2017年1月。ここでは西部入チール(埼玉東ふじみ野市、天野裕之社長、049・267・1181)が協業会社として、ラス型枠技術工を現場投入している。同施設はマルチ

テナント型の新型物流施設として地上4階建て、延床面積は約3万3700平方メートル、敷地面積は約1万6500平方メートルになる。ラス型枠は建造物の地下基礎部分に使用され、今回の施工平米数は8400平方メートルだ。建設業に従事する職人の数はリーマン・ショック以降に徐々に減少している。この数年は若手持ち直



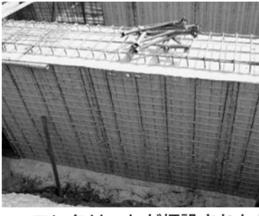
入社半年の飯塚さん。オフイス作業よりフィールドワークが好きと語る



ラス型枠。この網目が打設されたコンクリートを支える



番線と番線カッターで型枠を結束していく



コンクリートが打設された状態。養生後は枠を外す手間なく、次の工程へ移ることができる

水分補給や冷房に当たるなど、熱中症対策には現場が一丸となって対処している。それでも昨今の猛暑、炎天下の作業はつらくないかとの問いに「暑さも屋外作業も全く苦ではない」と笑う。全が第一の「建設技能者だからだ。定休の日

するシヨップで働いていたが、折よく親族からの紹介もあり、同社に入社した。ラス型枠とは建造物の基礎部分に施工されるた、作業のほとんどが屋根のないふききさらしだ。夏は直射日光が容赦なく照りつける。従事者には午前と午後のそれぞれ15-30分の休憩のほか、現場では施工主が起した全体図面を基に、協業会社などが参加した施工検討会が開かれる。そこで検討された図面から職長が加工帳を作成。加工帳を基に同社現場ではラス型枠を加工し、現場へ搬入する。現場では職長が図面も作成。これは飯塚さんたちが型枠を番線・緊張感が求められる。全ては「安心・安全」が第一の「建設技能者だからだ。



で固まるのが特徴だ。参加した伊澤小夏ちゃん(12)は「写真立てを2個作ったが、2度目に取っ掛かろうとモルタルを再びかきませたら、もう水を含ませただけで砂が固まっていく。シエツモルタルを使用した作品づくりが行われた。シエツモルタルは10分ほどヤラクターの絵を描くくらいで、みんな夏の思い出を作った。貞廣さんは、普段の生活で目にすることができない所を見られるのが、大層な醍醐味。土木の醍醐味。大



仮設階段が揺れるたびに怖がる子どもも。73段を下りれば高速道が開通予定のトンネル内部だ



出を作った。貞廣さんは、普段の生活で目にすることができない所を見られるのが、大層な醍醐味。土木の醍醐味。大

For a Lively World

大成建設の技術で実現する未来都市

わたしたちは「人がいきいきとする環境を創造する」というグループ理念のもと、自然との調和の中で、安全・安心で魅力ある空間と豊かな価値を生み出してきました。For a Lively World...この思いとともに、これまで育んできた技術を、さらに高次元の世代へ。わたしたちは、夢と希望に溢れた地球社会づくりに取り組んでいきます。

地球がいいき、人もいいき。大成建設がめざす未来です。

地図に残る仕事。  
**大成建設株式会社**  
TAISEI

SHMZ

子どもたちに誇れるしごとを。

目を輝かせて何かに没頭していたあの頃から、私たちのものづくりへの気持ちは変わりません。ずっと思い描いてきた夢や情熱を、建造物に込めて未来へ伝えていきます。

SHIMIZU CORPORATION  
**清水建設**